



町長から委嘱状を受け取る濱口さん（中央）と花枝さん（右）

地域おこし協力隊委嘱状交付式

特産品の販売・販路拡大へ

都市部の人を迎え入れ、新たな担い手として地域力の維持・強化活動を行う「地域おこし協力隊」。町では、4月から新しく花枝俊輔さんと濱口仙太郎さんを地域おこし協力隊として任用しました。

以前は東京でイタリアンレストランを経営しておりました。その後、芦北町の地域おこし協力隊として3年間従事しました。特産品開発などでいくつか成果は残せましたが、最終年度は新型コロナウイルスと豪雨災害の影響もあり自分自身納得のいかない退任となりました。今後は津奈木町の協力隊として本町・近隣地域や生産者に貢献できるよう邁進する所存です。



花枝 俊輔 さん
(40 = 大泊)

4月1日(木)、町役場応接室で新たな地域おこし協力隊として、花枝俊輔さん（東京都出身）と濱口仙太郎さん（福岡県出身）に委嘱状を交付しました。任期は1年更新で最長3年。これで町内で活動する隊員は5人となりました。町長は「気持ち新たに活動をスタートしてもらいた

い。活動を通じて得た人脈を大いに活用しながら、町へ人を呼び込み、町を元気にしてもらいたい」とあいさつ。二人は「つなぎ百貨堂と連携した町産品のブランド化と販路拡大」を担当。同業務の推進に向けた調査研究などを行い、地域の活性化につなげる活動を行っていきます。

これまでIT 広告・出版印刷・通販・インバウンド・不動産業界と様々な分野で活動し、最近まで5年ほど宿を営っておりました。まずはこれまでの経験を生かし、つなぎ百貨堂と連携して町産品の販路拡大とブランド化に尽力してまいります。また、移住促進や宿を通じた地域おこしにも取り組んでまいりますので、よろしくお願いします。



濱口 仙太郎 さん
(42 = 竹中)



↓新しい環境に胸を弾ませながら、元気に返事



ドキドキ、わくわくな新1年生 津奈木小学校入学式

4月8日(木)、小学校入学式が開かれ、新1年生29人の学校生活が始まりました。当日は新型コロナウイルス感染対策を施しての入学式でしたが、新1年生は保護者や先生が見守る中、恥ずかしさとうれしさが入り交じる笑顔で元気に入場。田尻則幸校長は「健康と安全に気をつけ学校生活を送りましょう」と言葉を贈りました。

真新しい制服に身を包んで入場 津奈木中学校入学式

4月9日(金)、中学校入学式が開かれ、真新しい制服に身を包んだ37人が入学式に出席しました。担任が一人一人の名前を読み上げると、新入生が元気に返事。新入生を代表して、江口陽人さん（小津奈木）が「何事にも自分のできることを精一杯やりきり、中学校でも実践したい」と決意を述べ、これから始まる中学生活に期待をふくらませているようでした。



↑真新しい制服に身を包み緊張した表情で入場

津奈木の空を元気に泳ぎ出す つなぎ温泉「四季彩」こいのぼり設置

4月17日(土)、商工会青年部が中心となってつなぎ温泉四季彩前にこいのぼり12匹を設置しました。これは、町の観光振興のために約20年前から行っているもの。商工会青年部長の鳥居俊彦さん（上下門）は、「こいのぼりを目印に温泉や物産館に寄ってもらえたらうれしい」と話していました。こいのぼりは5月上旬まで設置予定です。



↑こいのぼりを取り付けた商工会青年部と商工会職員

↓町内各所のカーブミラーがきれいになりました



交通事故ゼロを目指して 交通安全クリーン作戦

4月8日(木)、交通安全クリーン作戦として、町内業者がカーブミラーを清掃しました。参加したのは坂口建設、大富建設、鳥居自動車整備工場、南興建設、豊崎建設、新立産業、野崎土木、むつみ交通、熊南運送の9業者。

ことしも多くの方々の協力で安全なまちづくりに貢献していただきました。